第38回抗悪性腫瘍薬開発フォーラム 『産官学共創の力:リアルワールドデータによる抗悪性腫瘍薬開発の革新と実践』

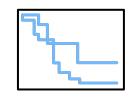
# RWEのグローバル潮流と日本におけるがんリアルワールドデータ構築の最前線 - Flatiron Healthの経験を踏まえて-

June 28, 2025 田島 絵里 Country Lead, Flatiron Health Japan



## リアルワールドデータ・リアルワールドエビデンス





リアルワールドデータ(RWD)

リアルワールドエビデンス(RWE)

さまざまな情報源から日常的に収集される患者 の状態や医療の提供に関連するデータ RWDの解析から得られたエビデンス

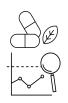
RWDを基に適切な研究メソッドの適用により RWEを抽出して 初めて価値につなげることができる



### RCT or RWE?

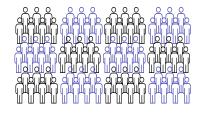
### ランダム化比較試験(RCT)





がん治療に関するエビデンス創出の ゴールドスタンダード 一方で、患者母集団の代表性が不十分

### リアルワールドエビデンス(RWE)





RCTでは捕捉できない患者集団等に関する知見を 実臨床下でのエビデンス生成により補完

双方を活用することで、臨床的に重要な意思決定に繋げることができる



## 医薬品のライフサイクル全体にわたるユースケース例

研究

#### 開発

#### 上市後

#### 研究・トランスレーショナルリサーチ

- 抵抗メカニズムの仮説構築
- アンメットニーズを持つ患者群の特定

#### 臨床試験デザインと実施

- 疾患の自然歴の理解
- 比較有効性の理解
- RCTをサポートするハイブリッド対照群の構築

#### HEORとマーケットアクセス

- 疾病負荷の特徴
- コストと臨床効果の評価
- 医療資源利用の評価

#### TPPデザイン

- ターゲットの優先順位付け
- 差別化のエビデンス生成
- 社内の意思決定支援

#### ダイバーシティ計画

- 対象集団を最適化するための I/E基準の定義
- 治験への参加率が低い患者群の治療実態理解

#### PMC / PMR

- 実臨床の患者群における安全性、毒性、有効性の評価
- 長期的な安全性と有効性の評価

#### ポートフォリオ戦略・コマーシャルプランニング

- ローンチ計画
- 社内の意思決定・投資領域/製品の優先順位付け
- 市場アセスメント実施

#### メディカル・アフェアーズ

- ローンチ前後のエビデンス生成
- 論文発表

#### 適応拡大

- 実臨床の患者群における臨床効果の理解
- 投与量の最適化

#### 薬事(NDA/BLA)申請

- アンメットメディカルニーズのある患者群 /自然歴詳述
- 外部対照群の分析

#### コマーシャル戦略/マーケット追跡

- ローンチ計画
- 患者のシェアと利用の理解
- 価格設定・予測の材料提供
- コマーシャル活動のターゲティング最適化



## CASE STUDY 複数の疾患領域にわたるアンメットメディカルニーズの評価・がん領域のポートフォリオ戦略の策定

#### 尿路上皮がん

#### 背景

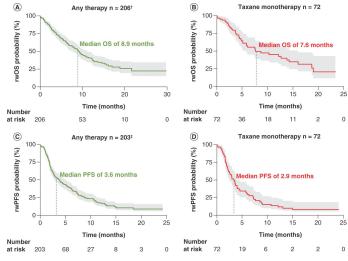
- がん領域のポートフォリオ戦略の策定を目的とし5つの疾患領域より臨床開発の優先領域を決定するためのエビデンス生成を実施
- 進行性尿路上皮がん(aUC)について、本研究実施時点で、化学療法及びD-1/L1阻害 剤の治療後に再発したaUC患者の生存アウトカムを評価する研究は限定的

#### Flatiron HealthのRWDを活用したアプローチ

- <u>対象患者</u>:
  - 2011年~2018年までに局所進行性または転移性尿路上皮がんと診断
  - プラチナ製剤およびPD-1/L1阻害剤治療後に、タキサン単剤または他の治療を受けた成人患者
- エンドポイント:
  - 実臨床における全生存期間(rwOS)・無増悪生存期間(rwPFS)

#### 結果

- 下記のエビデンスを生成
  - 約半数のaUC患者に対し、初期治療後、追加治療の実施がない
  - 追加治療を受けた患者の生存期間が平均年未満
- aUC患者の顕著なJMNを踏まえ、ポートフォリオ戦略の策定においてUCを優先





#### ケーススタディ RWDの活用による重要なエビデンス創出の早期化

#### 非小細胞肺がん

#### 背景

• 免疫療法に対する長期奏効を示す進行性非小細胞肺がん患者に対し、治療後2年後に治療中止すべきか、無期限に継続すべきかの評価が求められた

#### Flatiron HealthのRWDを活用したアプローチ

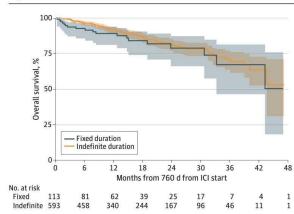
- · 対象患者:
  - 2016年~2020年に進行性非小細胞肺がんと診断
  - 初回治療として免疫療法を含む治療を受けた
  - EGFR / ALK / ROS1ドライバー変異陰性
- ・ <u>エンドポイント</u>:
  - 実臨床における全生存期間(rwOS)・ 無増悪生存期間(rwPFS)

#### 結果

• 治療を2年で終了した患者群と、継続した患者群との間で 全生存期間(rwOS)に有意差は認められなかった





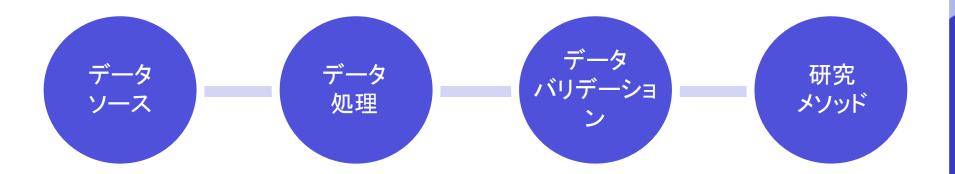


#### JAMA Oncology編集者の見解

本研究のような課題に対しては、従来の前向き試験の実施は困難であり、結果が得られるまで数年間かかる可能性がある。

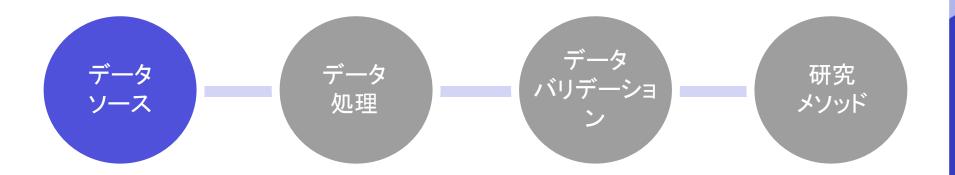
その間「完璧」を求めすぎて「良い」ものを無駄にすべきではない。 今回の RWD解析から、2年で治療を中止した場合でも 継続治療と同程度の OSが得られ、毒性リスクの低減、治療負担の軽減、医療費の削減といった観点からも、患者と医療者の意思決定を後押しする有用な示唆となる

## RWDを構築し、RWEを生成するために必要な要件





## RWDを構築し、RWEを生成するために必要な要件





## フラットアイアンヘルスのグローバルにおける RWDネットワーク

#### ■ | アメリカ

5M+

患者数

75% 地域クリニック

25% 学術医療機関

4,200+

200+

医療従事者

医療機関 診療拠点

1,000+

ユニーク施設数

#### ●│日本

日本全国で標準治療に 基づき多くの患者を診療する がんセンターや大学病院等 の学術医療機関

30,000+人

#### 謎 | イギリス

英国全土のNHSトラスト : 国民保健サービス (NHS)のもと、多くの疾病 の患者を治療する公的医 療機関ネットワーク

**40,000+人** 患者アクセス

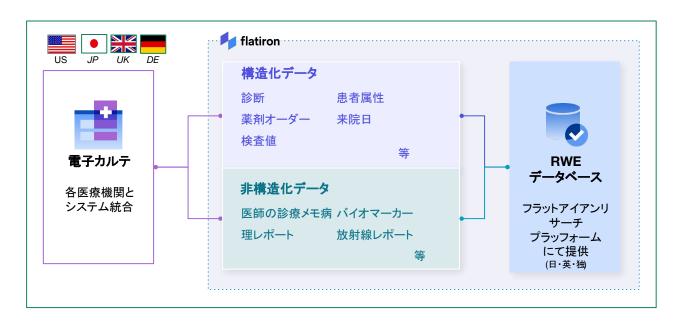
#### = | ドイツ

ドイツ全土のがん治療を反映するコミュニティ 施設と学術医療機関

**25,000+人** 患者アクセス



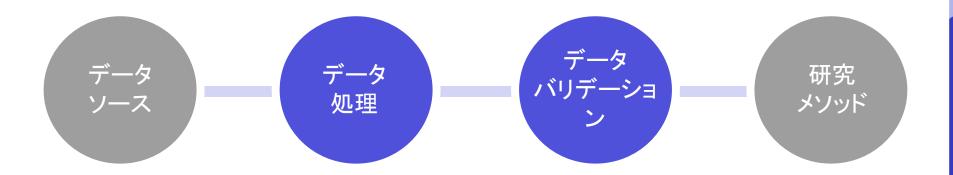
## Flatiron HealthにおけるRWDの構築アプローチ



- 全ての国(米・日・英・独)、全てのパートナー施設において、構造化・非構造化 データの双方に安全にアクセスするシステム基盤を構築
  - 米国でFlatiron Healthが提供する 電子カルテ(OncoEMR)を利用す る施設を除き、電子カルテシステ ムはどの国においても施設間のば らつきがある
  - 各国の法規制・倫理・技術要件に 対応
- 日本では、電子カルテに加えて部門システムのデータにもアクセスし、非構造化データの範囲を拡充

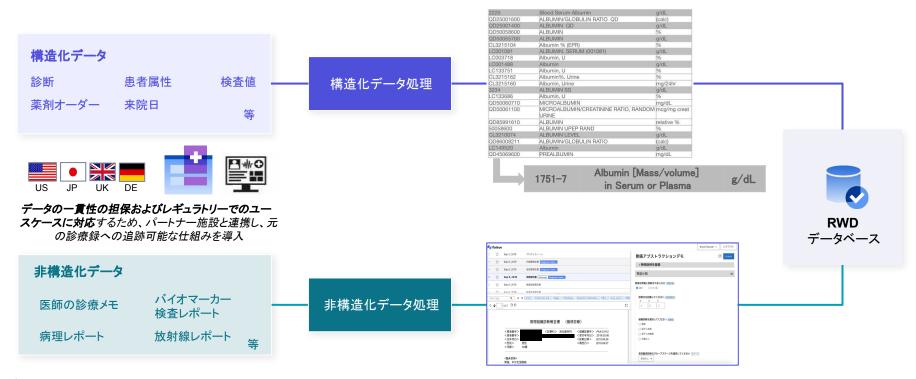


## RWDを構築し、RWEを生成するために必要な要件





## 電子カルテの構造化データ・非構造化データを統合し、高品質ながんRWDを構築





## 構造化データ処理:施設・国横断の "Harmonization" (標準化)

CodeSystem	Code	Description
Pharmacode	1338103	(Farmos) Tamoxifen Citrat Tabl 20 mg
PZN	03103166	TAMOXIFEN-ratiopharm 20 mg Tabletten
GTIN	7680490590354	Tamoxifen Farmos 20 milligramm Filmtabletten
HOT13	1267136010101	「DSEP」タモキシフェン錠0mg
GTIN	24987081188806	タモキシフェン錠20 MG「明治」
YJ code	4291003F2070	「日医工」タモキシフェン錠0mg
BNF	08030401	Tamoxifen 20mg Tablet
ATC	L02BA01	TAMOXIfen Citrate - 20mg - Tab
dm+d	388311000001100	Tamoxifen 20mg tablets (Teva UK Ltd)



**Tamoxifen 20 MG Oral Tablet** 



薬剤や検査名について、施設や国によって様々なフォーマット・単位・言語・略称・コーディングシステムで保存されている用語を、RxNormやLOINCなどの国際標準用語に統一



## Flatiron Health独自のアブストラクション手法により、非構造化データの体系的かつ高品質な処理を実現



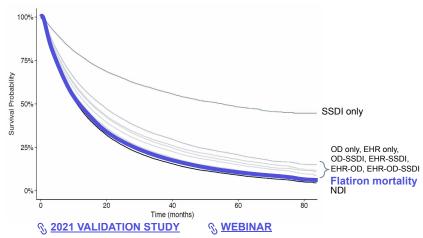


- ✔ 各国のがん臨床経験・専門知識を有する臨床アブストラクターが、 高度な研修を経て継続的なパフォーマンス管理 のもと アブストラクションを実施
- √事前に定められたバージョン管理付きの手順書・アブストラクションフォームを用いて、データ処理の品質を担保



## FDAとも共同でリアルワールドエンドポイントの検証を継続実施

#### 18がん種における米国の複数データソースと ゴールドスタンダード(NDI)との全生存期間中央値の比較



FlatironのRWDにより解析した全生存期間の中央値 が、 米国のゴールドスタンダード であるNational Death Index (NDI) に 最も近い結果を示した

- Social Security Disability Insurance (SSDI)
- 死亡記事(Orbituary Data; OD)
- 電子カルテデータから得られた死亡情報(EHR)
- 上記を全て組み合わせたFlatironのRWDの死亡情報

#### 米国FDAと共同でリアルワールドエンドポイントについて複数研究を実施

- Real-world Overall Survival(rwOS)を用いた論文:5件
- Real-world Progression-Free Survival (rwPFS)を用いた論文:2件
- Real-world Response Rate(rwRR)を用いた論文:2件

#### FDAとの共著論文例

リアルワールド エンドポイント	論文タイトル	掲載誌	発表 時期
rwOS	Real-World Outcomes of Patients with Metastatic Non-Small Cell Lung Cancer Treated with Programmed Cell Death Protein 1 Inhibitors in the Year Following US Regulatory Approval	The Oncologist	2018
rwPFS	Real-world Progression, Treatment, and Survival Outcomes During Rapid Adoption of Immunotherapy for Advanced Non-Small Cell Lung Cancer	Cancer	2019
rwRR	Evaluation of Real-World Tumor Response Derived From Electronic Health Record Data Sources: A Feasibility Analysis in Patients With Metastatic Non–Small Cell Lung Cancer Treated With Chemotherapy	JCO Clinical Cancer Informatics	2024



Oncology Center of Excellence

**CDER Office of Biostatistics** 

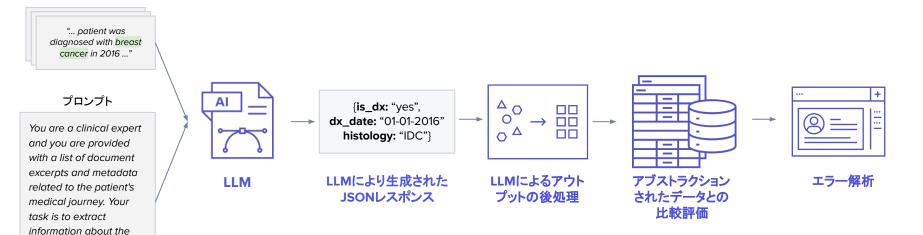


(F1などのパフォーマン

ス指標算出など)

## LLMを活用したデータ抽出アプローチ:パノラマデータセットの作成

### 関連ソースデータ抜粋



エラー解析の実施が、インプット内容、プロンプト、後処理に関する 反復的な改善を行う上での基礎となる



diagnosis ...

patient's breast cancer

元の患者データに遡り、

モデルのエラーを深く理解

## 「VALIDフレームワーク」の提唱: LLM/MLにより抽出された RWDの品質評価の枠組み

The Validation of Accuracy for LLM/ML-Extracted Information and Data; The VALID Framework



人手による臨床アブストラクションと比較した、各臨床情報の抽出パフォーマンスを確認

- → 例)特定のデータ項目の完全 性(欠測)検証
- → 例)データ抽出精度の検証



#### 自動データ検証

患者単位・コホート単位でのデータ検証および、臨床観点からの 妥当性確認 (明らかに誤り・現実的でない データ項目の特定など)

- → 例)バイオマーカーが陰性で、 標的治療がなされている患者 の割合
- → 例)イベントの日付順序に齟齬 がある患者の割合
  - ◆ 初回診断の前に手術が 実施されている、など



## 再現性評価・ベンチマーク解析

同じ試験について、異なるデータ 抽出方法のデータセットを用いて 直接結論を比較

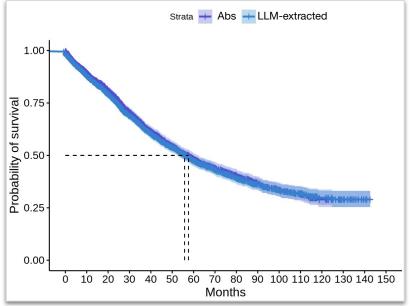
→ 例)TNBC患者における術前・ 術後の治療パターンとアウト カムをアブストラクション ・LLMによる抽出の双方の RWDで比較





## パノラマデータセットとアブストラクションされた RWDのrwOS分布

HER2陽性乳がんの1LTHP\*患者のrwOS:アブストラクション vs. パノラマ(LLM)

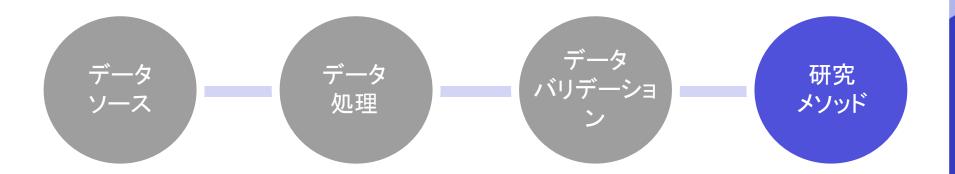


	生存期間中央値	下位95% CI	上限95% CI
アブストラクション	57.6カ月	52.6カ月	62.1カ月
パノラマ (LLM)	55.8カ月	52.2カ月	59.8カ月

対象コホートで生存曲線が重複しており、2種類のデータ抽出アプローチ間で一貫した洞察を示している

- 1LのHER2+コホートのOS曲線は、アブストラクションによるデータとLLMによる抽出データで重複
- LLMによる抽出データには、以下のような複数のモデルを併用:
  - BC診断
  - 転移診断
  - HER2の状態
- 少数の患者サブセットにおけるモデル誤差はみられるが、 結果はデータ抽出アプローチに関係なく一貫し、CLEOPATRA <u>試験データ</u>に基づく予想と一致 (生存期間中央値 56.5カ月)

## RWDを構築し、RWEを生成するために必要な要件





## Flatiron Health RWDを活用したスタディ実施の一例

#### 【研究テーマ】

男性のHR+/HER-転移性乳がんにおけるアンメットニーズに関するエビデンス生成

#### ✓深い臨床データを用いた対象集団の正確な選定

構造化データ

2011年1月1日以降にFlatiron Healthの乳がん データベースに2回以上のの受診あり

構造化データ

乳がんの診断コードの記録あり (ICD-9 174.x or ICD-10 C50.x)

非構造化データ

病理的に確認された乳がんの診断あり

非構造化データ

ステージIVまたは再発転移性乳がんの診断 あり(転移診断日が2011年1月1日以降)

構造化データ

男性(患者基本情報の構造化データをもとに、非 構造化データの確認を経ての抽出)

非構造化データ

HR陽性、HER陰性

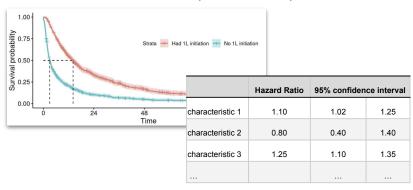
非構造化データ

転移診断後に抗がん剤治療歴あり

#### ✔研究目的に適した実臨床のアウトカム情報の活用

#### 非構造化データ由来の実臨床におけるアウトカム

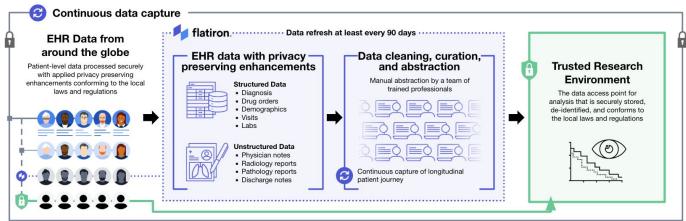
- Real-world overall survival (全生存期間; rwOS)
- Real-world progression (無生存增悪; rwPFS)
- Real-world response (全奏効率; rwORR)
- Real-world adverse events (有害事象; rwAE)





## ミッション: より良く長い人生のために、がんと共に生きる一人ひとりの経験から学ぶ







## まとめ

- RWDとRCTは対立するものではなく、臨床エビデンス生成のため相互に補完 する関係にある
- 高品質なRWDから生成されたRWEは、エビデンス生成のゴールドスタンダードであるRCTの実施を効率化・ 高度化し、RCTでは捉えられない患者群におけるエビデンス生成を可能とする ことで、がん治療の向上・研究の進展 に寄与する
- RWD構築をゴールとせず、いかに高品質の RWEに変換し、患者への価値に転換できるか、という視点に基づき、適切なデータソースへのアクセス、堅牢なデータ処理、継続的なデータバリデーション の実施と適切な研究メソッドが重要
  - □ 今後 ML / LLMによる非構造化データの抽出が進む中でさらに上記の重要性が増す
  - 既に米国では上記の観点や、フラットアイアンヘルスの品質フレームワーク(VALIDフレームワーク)に沿って ML/LLMを活用したデータの構築とその活用が進んでいる。アブストラクションされた大規模なデータとの比較などを通じて、ML/LLMによる抽出の有効性も適切に継続的にバリデーション することが必須
- 日本においても、グローバルで認められたデータ処理や方法論を適用し、これまで得られなかった
   日本のがん患者に対する深い洞察の取得 や、日本・米国・ヨーロッパの国横断でのグローバルエビデンスの生成を可能とする基盤を構築している



